

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月28日

北海道運輸局

協議会名: JR富良野線連絡会議

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③事業の今後の改善点(特記事項含む)	評価結果	
JR富良野線連絡会議	(公共交通利用実態調査、鉄道・バスの共通時刻表の制作・配布) ○事業概要 ①地域住民アンケート、鉄道・バスの共通時刻表の制作・配布 ・調査期間:令和5年8月中旬～9月中旬 ・調査対象:沿線旭川市～富良野市5市町居住の800名 (回答275名34%)※18歳以上高校生は除く無作為抽出 ②高校生向けアンケート、鉄道・バスの共通時刻表の制作・配布 ・富良野線沿線の高校通学生678人対象調査 ・調査時期:令和5年9月 ・回答58人(回答率8.6%)	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学生を除くと日常的に富良野線を利用する住民が極めて少ない一方で、今は利用していないものの今後は利用するとの回答が17%あった。 ・高校生対象の調査では、通学時間が平均49分であり自宅から駅までの移動手段は自転車・バイクが64%と最も多い実態を確認した。 ・鉄道とバスを組み合わせると便利とわかったことや鉄道やバスをもっと利用しようと思ったとの回答が延べ47%あった。 ・引き続き地域住民の利用促進に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業は計画どおりに実施されている。 ・今後、持続可能性と利便性の高い地域公共交通への再構築に向けて取り組んでいただきたい。 	
	(観光利用に関する意向調査) ○事業概要 ・調査期間:令和5年8月 ・調査地域:札幌圏、関東圏、関西圏 ・調査対象:過去5年以内で観光旅行で富良野線を利用した者325名	A	<ul style="list-style-type: none"> ・観光利用に関する意向調査では富良野・美瑛/ノロコ号が全席指定席となっても54%が今後も利用するとの意向を示している ・今後は観光列車の高単価化の検討を進める。 		
	(フラノラベンダーエクスプレス延長運転) ○事業概要 ・フラノラベンダーエクスプレスを富良野から旭川まで快速列車として運行 ・利用者に対する延長運転に関するアンケート調査の実施 ・11日間の延長運転のうち5日間はラベンダー畑駅に停車 ・利用者にアンケート調査を実施 ○実績 利用者数1,969人 ○アンケート調査の結果 ・延長運転に対する満足度は道外客・道内容ともに高い。 ・車両については、ほぼ全員が満足と回答。 ・道路渋滞や観光施設の駐車場混雑のため鉄道利用が便利との評価。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の周知期間の短さや、周知方法を指摘する意見があり改善を行う必要がある。 ・富良野駅での停車時間の長さや、ホーム長の都合により駅によっては乗降制限があるなどの課題がある。今後は利便性の高い運行となるよう関係者と検討を進める。 		
	(ラベンダー畑駅普通列車停車) ○事業概要 ・ラベンダー畑駅に9時～17時の普通列車8本(上り4本、下り4本)を停車 ・フラノラベンダーエクスプレスを5日間(7/15、16、17、22、23)のみ2本(上り1本、下り1本)停車 ・利用者にアンケート調査を実施 ○実績 乗降人数4,984人(ノロコ号含む10,522人) ○アンケート調査の結果 ・普通、快速列車のラベンダー畑駅停車については、観光施設へのアクセスの良さからほぼ全員が満足している。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ラベンダー畑駅から観光施設までは歩道がなく、期間中の警備員の常駐が必須となっており、事業継続に向けて安全面の確保、費用対効果等が課題となっている。今後は観光地への誘導の安全確保に向けて、関係者と検討を進める。 		